

神奈川県立公文書館 被災公文書レスキュー

▼ 被災公文書が保管され、乾燥作業などが進められている廃校(旧矢作小学校)



▼ 昭和期に作成された古い文書も多くある

▼ 第一回目の現地作業では400冊を当館へ持ち帰った

▼ 現地で乾燥作業が進められている簿冊群



▼ 発生する粉じんを集じん機で吸引しながらの作業

▼ 泥汚れやカビなどが見られる被災公文書

▼ 旧矢作小学校でのレスキュー作業の様子



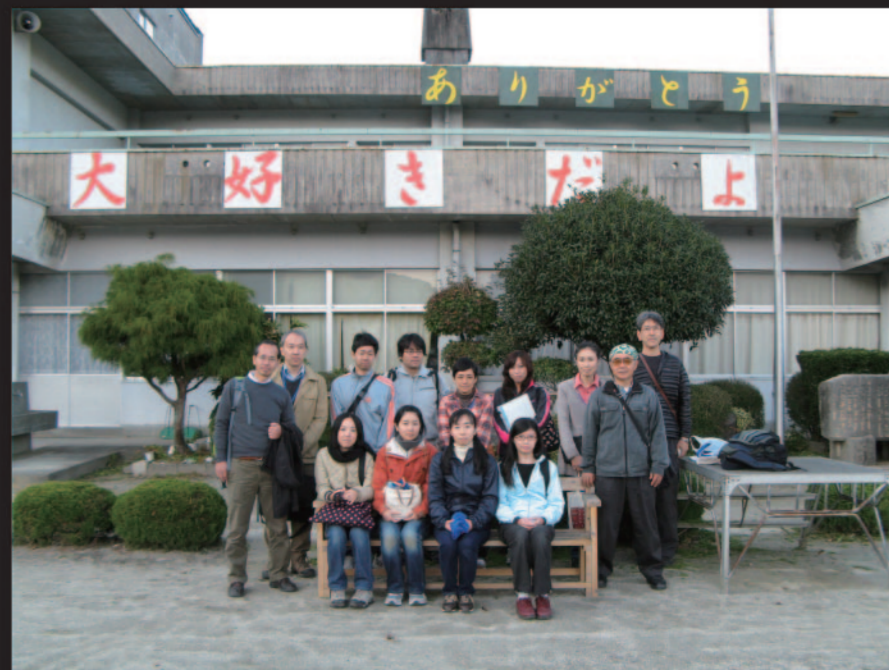
▼ 1つひとつの文書の状態を確認して仕上がりをチェック

▼ 紙の表面を傷つけないように注意を払いながら行う

▼ 刷毛やナイロン不織布などを用いて汚れを除去する



▼ 緊急雇用されたレスキュー隊のメンバーと当館職員



陸前高田のこれからを支える公文書を修復

2011年3月11日の東日本大震災で、岩手県陸前高田市の歴史そのものともいえる公文書も被災しました。津波による海水で紙が濡れてしまったり、土砂などの汚れが入り込んだりしたため、日常的に使用することや、永久保存文書として長期保存することがむずかしい状態になっています。10月、県立公文書館がこれらの文書を修復するレスキュー事業を立ち上げました。同市の行政のこれからの寄り添う文書を修復することで、生活再建の一助になればと願い、作業を行っています。

神奈川県立公文書館
〒241-0815
横浜市旭区中尾1-6-1
☎ 045-364-4456
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/FT04/>